



評価のポイント

CL-新人.看護実践能力：協働する力

〔51-新人〕報告・連絡・相談（伝える力、聞く力、質問する力）の実際

報告連絡相談を受ける「聞き手」の立場に立って、どのような報告や相談が、望ましいかについて普段工夫していることも含めて話し合ってみましょう。

1. 報告内容を理解するために、相手が知りたいことを予測したり、相手に直接聞いてみる。

2. 報告前に相手の都合を確認する。

例：「〇〇の件で、報告があるのですが、今よろしいですか？」

3. 結論から報告する。

例：「安静の指示が出ている患者さんの排泄方法についてご相談があります。患者さんは。。。」

4. 5W1Hを活用する。（いつ）、（どこで）、（だれが）、（何を）、（なぜ）、（どのように）
「5分前に（いつ）、病室で（どこで）、〇号室の辻本さんが（だれが）、転倒していました（何を）。少し離れたところのコップをとろうとして（なぜ）、お尻から手をついて倒れたようです（どのように）。バイタルサインは。。。」

5. 事実と推察は分けて伝える。客観的な事実を正確に伝え、事実の後に意見を述べるなど工夫する。

例「これは私の意見ですが…」 など